

平成30年度「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」事業概要(男鹿市)

1 市の概要(人口28,133人)※平成30年4月1日現在

就学前教育・保育施設数、小学校数(平成30年4月1日現在)						
幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	地方裁量型 認定こども園	小学校
2園	0園	0園	7か所	1園	0園	6校

その他： 事業所内 1

2 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題
<p>(1) 小規模な施設が多く、少ない人材で保育や園運営を行うため、研修時間の確保や園外研修への機会が少ないこと</p> <p>(2) 市内の就学前施設において同じ研修が行われていないため、施設間での保育の専門性向上の機会に不均衡があること。</p>

3 事業計画の概要(3年間の主な計画)

目的(3年間)	
<p>教育・保育アドバイザーを配置し、市内の就学前施設への巡回指導及び助言を行うことにより、保育の質の向上を図る。</p> <p>教育・保育の専門家を活用した研修会等の実施により、保育者の専門性の向上を図る。</p> <p>幼・保・小の連携を図る。</p>	
主な内容(3年間)	
<p>(1) 教育・保育アドバイザーの配置 市に教育・保育アドバイザーを配置し、各就学前施設の課題の掘り起こしを行い、県の教育・保育アドバイザーと連携しながら、解決に向けた方策を探る。</p> <p>(2) モデル園を核とした研修推進 モデル園である船川保育園(保育所型認定子ども園)を核とし、保育実践力向上研修会の開催や質の高い教育・保育、小学校教育との接続等についての研究を推進する。</p> <p>(3) 園のニーズに応じた研修会の実施 各就学前施設の実態に応じた柔軟な訪問指導や、効果的な研修等の実施により、保育者の主体性確保を目指すほか、中核となる保育者の育成を行う。</p> <p>(4) 幼小連携に関する検討 小学校と各就学前施設の連携に係る調整、接続に関する研修会の実施による理解促進及び指導計画の作成等の支援を行う。</p> <p>(5) 取組の普及(成果の発信) 公開保育研究協議会の実施により、成果の発信を図る。</p>	
年度別重点	
平成28年度	教育・保育アドバイザーを配置し、各就学前施設の巡回により課題を抽出することで指導助言を行うほか、研修によるスキルアップを図る。
平成29年度	研修機会の提供により、各施設間での保育の専門性における格差の縮小を図るほか、中核となる保育者の育成を図る。
平成30年度	幼小連携に向けた支援体制の整備や接続期の教育内容について研究を推進するほか、公開保育研究協議会での成果の発信を行う。

4 平成30年度の具体

目的

教育・保育アドバイザーを配置し、市内の就学前施設への巡回指導及び助言を行うことにより、保育の質の向上を図る。

教育・保育の専門家を活用した研修会等の実施により、保育者の専門性の向上を図る。
幼・保・小の連携を図る。

実施内容

(1) 教育・保育アドバイザーの配置（指導・助言体制の構築）

各施設への巡回指導、助言や各保育者との面談等のきめ細かな指導支援により、施設や保育者が抱える課題に柔軟に対応し、保育者の気づきによる主体的な保育改善や教育・保育における専門性の向上を図る。

◇アドバイザーに関する具体的な目標（男鹿市）

①アドバイザーの配置人数	②主な経歴	③主な業務内容
教育・保育アドバイザー2名	元公立認定こども園長、元私立保育所保育士	園訪問による指導、研修会での指導及び企画・運営、幼小接続に関する調査、保育者面談
④派遣対象施設／地域		⑤派遣期間
幼稚園（公立・私立）、保育所（公立）、保育所型認定こども園（公立）、その他（事業所内保育施設）、小学校／男鹿市		平成30年4月～平成31年3月
⑥派遣目標 計9施設／全9施設 122回		
回数	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園：市立1園（13回）、私立1園（11回） 保育園：市立6園（72回） 保育所型認定こども園：市立1園（15回） その他の施設：（事業所内保育施設 1か所（3回）） 小学校：6校（8回） 	
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画）（目標のうち、9園（20回）） 公開保育支援（指導・助言、公開保育研究会の運営・準備）（目標のうち、9園（10回）） 個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等）（目標のうち、9園（72回）） 状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査）（目標のうち、9園（9回）） 周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明）（目標のうち、9園（9回）） 県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化）（目標のうち、8園（10回）） 幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等）（目標のうち、6校（8回）） 特別支援訪問（目標のうち、9園（9回）） 	
理由	派遣目標として、各園月1回以上訪問指導し、公立幼稚園、認定こども園は上乗せで訪問、指導し、向上を図る。事業所内保育や、モデル園や複数園が入学する小学校へは、訪問回数を増やして、連携の理解を進める。	
⑦派遣体制		
・アドバイザーが単独で訪問 ・複数のアドバイザーによるチーム派遣 ・県指導主事等との同行		

(2) モデル園を核とした研修の推進

モデル園を核とし、計画性のある園内研修の推進や、園外研修への参加意欲の向上、さらには保育者自身の課題を解決するためのプロセスの明確化により、教育・保育の更なる質の向上に向けた研修を推進する。

【モデル園の公開】

船川保育園公開保育研究協議会 10月24日（水）

(3) 園のニーズに応じた研修会の実施

保育実践力向上研修会やミドルリーダー研修会の継続に加え、新たに若手保育士の研修会を開催し、保育者がキャリアステージに応じて研鑽を積むことが可能な研修機会を拡大するとともに、研修内容の充実を図り、教育・保育の課題解決につなげる。

【保育実践力向上研修会】

- ①全施設教職員等対象研修会 7月21日(土)
- ②キャリア別研修会(ミドルリーダー) 6月～12月(1回)
- ③キャリア別研修会(若手保育士) 5月、11月(2回)

(4) 幼小連携への取組

小学校と就学前施設の連携を図るため、教育・保育アドバイザー、就学前施設職員、小学校職員、教育委員会職員と施設訪問、公開保育研究協議会、保育実践力向上研修会を通し、交流、意見交換を行い、小学校への円滑な接続のための相互理解、意識の共有を図る。

(5) 取組の普及(成果の発信)

巡回指導、研修等の事業の成果の発信として、市内就学前全施設(9か所)において公開保育研究協議会を開催する。

また、近隣市町村への周知により広域的に研修機会の提供の核として、園及び保育者、小学校職員の交流の活性化、保育者の意識改革及び自信の形成を図り、市全体の教育・保育力の向上、定着につなげる。

【公開保育研究協議会】

- ①玉ノ池保育園 5月24日(木)
- ②若美南保育園 6月20日(水)
- ③北浦保育園 7月6日(金)
- ④五里合保育園 7月18日(木)
- ⑤船越保育園 7月(未定)
- ⑥脇本保育園 8月28日(火)
- ⑦いづみ幼稚園 10月2日(火)
- ⑧若美幼稚園 11月6日(火)

検証・評価計画

	内容	目標となる指標	時期	評価方法
1	教育・保育アドバイザーの配置	・市内就学前全施設を訪問し、指導助言を行う。	4～2月	園アンケート調査
2	保育実践力向上研修会	・保育者全員を対象とした研修会1回、ミドルリーダー研修会1回、若手保育士研修会2回、計4回開催	5～12月	参加者アンケート調査
3	公開保育研究協議会	・モデル園を中心として、市内就学前全施設(9か所)において開催	5～12月	参加者アンケート調査
4	幼小連携	・研修会、公開保育研究協議会への小学校職員、教育委員会職員の参加、教育・保育アドバイザーの小学校訪問	5～2月	参加者アンケート調査